

モデル橋梁を使った

2013年度

7月改訂版

橋梁保全技術研修

名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

名古屋大学に設置されたニュー・ブリッジは、臨床的な橋梁維持管理技術を学べる研修施設です



【研修を増やしました】
検査点検コース研修は9月と
10月にも実施します。



**2013年度の橋梁保全技術研修（基礎コース、
検査点検コース、診断評価コース）を次の
とおり実施しますのでご案内いたします。**



研修状況（座学）

1. コースの概要

(1) 基礎コース

橋梁維持管理の基礎知識が学べるコースです。

橋梁維持管理の知識を持たない方や実務経験の無い方でも受講できます。

(2) 検査点検コース

国土交通省点検要領に基づく点検実務と劣化機構の推定についてニュー・ブリッジを使用して学習できるコースです。

(3) 診断評価コース

橋梁の劣化予測、性能評価および補修・補強対策について学習できるコースです。

2. 各コースの研修内容等

(1) 基礎コース

① プログラム（2日間）

プログラム		形態
第1日目	日本の橋梁の現況・橋梁の変状 橋梁構造の概説・橋梁の維持管理の流れ 点検手法・非破壊検査機器の原理	講義
第2日目	ニュー・ブリッジ劣化状況説明 点検機器の計測講習	ニュー・ブリッジ実習

② 開催期日、定員

		期日	定員
第4回	第1日目	2013年 10月 8日 (火)	約60名
	第2日目	2013年 10月 9日 (水)	約30名
		2013年 10月 10日 (木)	約30名

③ 受講料（消費税を含む） 社会人 5,000円
学生 3,000円

(2) 検査点検コース

① プログラム（3日間）

プログラム		形態
1日目	日本の橋梁の現況・基準の変遷・変状の概説 劣化機構の推定（コンクリート部材）	講義
	モデル橋梁の劣化	ニュー・ブリッジ実習
2日目	劣化機構の推定（鋼部材）・橋梁の維持管理の 流れ・点検手法（非破壊検査）	講義
	国土交通省定期点検要領・調書の解説	講義
	各機関の点検要領・点検の着目点	講義
3日目	ケーススタディ（損傷図作成・損傷判定・劣 化機構の推定）	ニュー・ブリッジ実習

※この検査点検コースには、実務経験年数等の受講制限がありますのでHP
でご確認ください。

② 開催期日、定員

	期日	定員
第5回 募集は締め切りました。	2013年 8月 6日(火) ~ 8日(木)	約21名
第6回 (追加)	2013年 9月 17日(火) ~ 19日(木)	約21名
第7回 (追加)	2013年 10月 29日(火) ~ 31日(木)	約21名
第8回	2013年 11月 19日(火) ~ 21日(木)	約21名
第9回	2014年 1月 21日(火) ~ 23日(木)	約21名

③ 受講料 (消費税含む) 12,000 円

(3) 診断評価コース

① プログラム (3日間)

	プログラム	形態
1日目	日本の橋梁の現状・基準の変遷・劣化機構の推定	講義
2日目	劣化予測・性能評価と判定・対策の要否判定	講義
3日目	劣化の症例に対する劣化予測～対策 ～維持管理計画(ケーススタディ)	講義

※この診断評価コースには、実務経験年数等の受講制限がありますのでHPでご確認ください。

② 開催期日、定員

	期日	定員
第1回	2013年12月実施予定	約30名

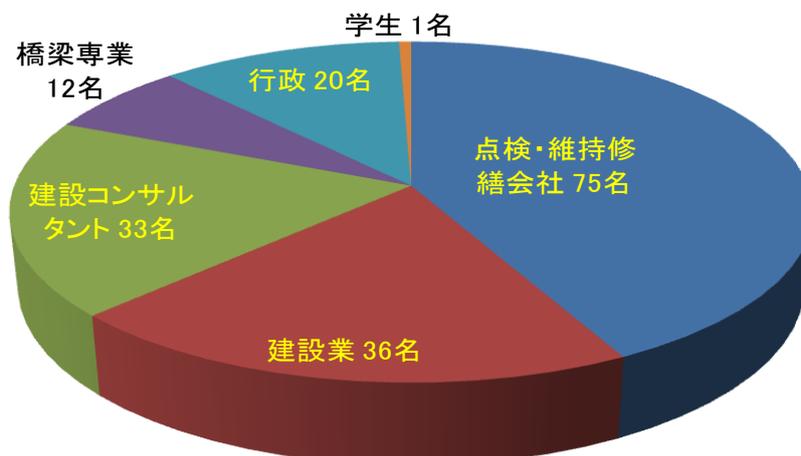
③ 受講料 未定

(4) 各コースの共通事項

- ①研修は全て名古屋大学構内で実施します。
- ②研修修了者には名古屋大学より「修了証」が交付されます。
- ③プログラムは、都合により変更する場合があります。
- ④受講申し込等の詳細については研修日の約2か月前にHPに掲載する「受講者募集案内」をご覧ください。

3. 昨年度の橋梁点検技術研修の実績

2012年度は基礎コースを2回、検査点検コース2回を実施し、合計177名の方が受講しました。



4. 検査点検コース修了者への名古屋大学が行う試験について

(1) 試験の目的

橋梁維持管理の知識・技術の保有レベルの確認のための試験で、橋梁の維持管理に関する知識を有する技術者の育成を通じて社会に貢献することを目的としています。

(2) 試験の受験要件及び認定

「検査点検コース」の受講修了者を対象とした試験で、試験の結果により、名古屋大学が発行する橋梁点検士の認定証を交付します。

(3) 試験実施日

試験	試験日
橋梁点検士	2013年8月25日(日)

※試験申し込等の詳細は試験日の約2ヶ月前にHPに掲載する「認定試験案内」をご覧ください。

5. その他

研修及び試験に関するご不明な点は下記にお問い合わせください。

《お問い合わせ》 名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

電話：052-789-3726

担当：和田、田口

HP：<http://concrete-lab.civil.nagoya-u.ac.jp/n2u-bridge/>

E-mail：N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp

【支援】橋梁保全技術研修協議会 参加機関

(2013年3月現在)

大 学：富山県立大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、愛知工業大学、
中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名城大学
行 政 機 関：国土交通省中部地方整備局道路部、
富山県土木部、石川県土木部、福井県土木部、
岐阜県県土整備部、静岡県交通基盤部、愛知県建設部
三重県県土整備部、名古屋市緑政土木局、
道 路 管 理 者：愛知県道路公社工務部、名古屋高速道路公社保全施設部
民 間 業 界 団 体：社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会、
一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中部支部
ニュー・ブリッジ：名古屋大学、中日本高速道路(株)、
事業者 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

ニュー・ブリッジ
N2U-BRIDGEとは・・・全国で更新に伴い撤去された橋梁の部材
を再利用して構築した原寸サイズの研修・研究施設です

2013年7月18日